



神戸市西区の「児童遺棄事件」で
日本共産党市議団が市長に申し入れ!

神戸市は
適切な対応をしたのか

6月22日、神戸市西区の草むらで、遺棄された6歳の児童が発見されるという痛ましい事件が起こりました。これまでの警察発表等によると、児童には多数回にわたる打撲の跡があるとともに、亡くなった原因は暴行による外傷性ショックであるとみられ、以前からも虐待を受けていた疑いがあるとのことです。

日本共産党議員団は、2020年子ども家庭センター（児童相談所）に夜間相談にきた児童を追い返した事案も受け、「行財政改革」の名で職員を削減し、民間任せで脆弱にされてきた人員体制の強化を一貫して求め、本年3月及び6月の委員会でも、虐待事案を機敏につかみ、適切かつ十分な体制で対応できるように、人員の強化を求めてきました。

今回の事件をうけ、6月30日、久元喜造市長に、子ども家庭センターをはじめ神戸市が適切に対応していたのか明らかにすることと虐待から児童の命を守る体制の強化を緊急に申し入れました。

担当者に聞き取り、申し入れを行う日本共産党議員団



子ども家庭局長は、「子ども家庭センターや区役所が関与していたもとで亡くなられたのは残念で重く受け止めている」
「神戸市として検証が必要になれば対応していきたい」と答えました。

緊急申し入れ内容

一、見守りを行ってきた保育園から虐待があり虐待の疑いがあるとの通報を重大視せずに、区役所が警部の痣の確認はじめ児童の様子を十分に確認・面談できなかったにもかかわらず、なぜ、こども家庭センターと連携して、立ち入り調査権限も活用する積極的な虐待調査を行わなかったのか。

二、区役所とこども家庭センターとが個々それぞれに電話や訪問面談し、その相手も母親だけではなく祖母や叔父・叔母であったなど、児童及び家庭に対する調査・対応に一貫性がない。2017年3月から2023年5月まで11回の検討会が開かれたが、どのような根拠をもって、虐待のケースとして重症度を低く判定していたのか。

三、近隣でも、児童のベランダへの締め出し、怒鳴り声など、虐待と疑われることが目撃されていたにもかかわらず、なぜ、民生委員・児童委員への聞き取りなどの積極的な情報収集を行わなかったのか。

四、「要保護児童」と位置づけ虐待対象のケースとして、家庭の養育状況を確認していたにもかかわらず、なぜ、叔父が同居し始めたことを新たなリスクや状況の悪化を想定して、児童の保護を最優先する対応を取らなかったのか。

五、一時保護する予定だったにもかかわらず、一時保護を求めた家族（母、祖母）に、直接意向を確認せずに、同居家族（叔父・叔母）の「必要ない」「家族で見る」との発言をもって、なぜ、保護者の「一時保護したい」という考えが終わった」と判定し、それで降、こども家庭センターから訪問するなどの、一時保護に向けた積極的な対応を行わなかったのか。



「申し入れ書」渡す、森本真、松本のり子、大かわら鈴子、西ただす、味口としゆき、森田たき子、前田あきらの各市議

◆◆◆ 皆さんの声で実現しました! ◆◆◆

地域のご要望や暮らしのご相談は、

お気軽にご連絡ください



有野中町地域



歩行者安全の注意喚起

草刈り後

手すりにつかまれない



鈴蘭台地域

大池駅



踏切の歩道設置

費用弁償の廃止や海外視察を中止など

公正で開かれた神戸市議会への改革を提案

5月1日、日本共産党神戸市議員団は、議会の不要な予算を削減するとともに、審議・質問時間の拡大や、土日議会の開催など、市民に開かれた議会改革を提案しました。

申し入れの全文はこちら▶



朝倉 えつ子

神戸市会議員



6月7日 福祉環境委員会での朝倉議員

発行：日本共産党神戸市議員団 〒650-0001 神戸市中央区加納町6-5-1
党市議団 HP: <https://www.jcp-kobe.com/>

トラブル続出! マイナンバーカード強要、保険証廃止はやめよ!

マイナンバーカードを巡るトラブルが続出し大問題です。世論調査でもマイナンバーの活用に不安を感じているとの回答は72%、保険証との一体化には55%が反対しています。6月福祉環境委員会で市内状況を質しても、「数字を持ち合わせない」などと市当局は真摯に応え

ません。ところがその後、ポイントが付加されないなど、4件のトラブルが報告され、「総務省も調査できないとの回答」と言います。国の失策です。制度の検証もされないまま、強引にすすめるべきではありません。2024年秋の保険証廃止はやめるべきです。

武器より、くらしや子育て応援を!

岸田政権は軍拡財源確保法を強行しました。くらしのためのあらゆる予算を軍事費に流用しようとしています。しかも、5年間で43兆円もの大軍拡により、世界第3位の軍事大国となり、他国へ脅威を与え、市民のくらしと平和も脅かすものです。日本共産党神戸市会議員団は、5月の本会議で、市として、国に法成立や具体化に反対するよう求めました。



7月10日 平和行進に参加する朝倉議員

市民の声を聞いて! 済生会兵庫県病院の統合計画は中止、今の場所で存続を

済生会兵庫県病院が三田市民病院と統廃合され、100床以上の病床を減らし、今の北区藤原台から5キロ以上離れた場所に移転させられようとしています。神戸市は、病院存続のための対策をとらず、統合しないと「病院がつぶれる」などと脅し文句で、「再編統合」を後押ししています。国の「地域医療構想」のおしつけが、強引な病院統廃合の背景にあります。朝倉えつ子議員は、「病院・病床を削減することに不安しかない」「遠い所への移転は、私にとっては病院廃止と同じ」など、住民から寄せられている声を示し、統合移転ありきの計画は撤回すべきと神戸市に求めています。

また三田市では、三田市内から市民病院が無くなることに市民の怒りの声が拡がり、住民投票運動で条例請求できる4倍もの署名が集まりました。過日行われた市長選挙で統合を推進する現職市長は落選しました。市民の声を聞かず、統合を強行することは許されないと、引き続き声を上げ続けます。



5月17日 議案質疑する朝倉議員

住民の声が活きるまちづくりを!

神鉄沿線駅再整備



神戸市は、「沿線ニュータウンのオールドタウン化や人口減少などの課題への取り組み」として、12の駅で駅舎の建替えや整備を進めています。

高齢化の進む北区では、病院やショッピングセンター、役所を巡回するコミュニティバスを運行してほしいと要望があります。駅周辺だけがきれいに便利になっても、駅へ行く交通が無ければ利用することもできません。

また、唐櫃台地域では、高校や幼稚園の統廃合計画が検討されています。子育てしにくい地域になれば、若い人は住めなくなります。誰にとっても住み続けられる地域にと求めています。

みなさんのご要望ご意見をぜひお聞かせください。住民本位の計画を求めます。

他の駅についても市HP「神鉄沿線活性化」からご覧になれます▶



岡場駅



当初は廃止も検討していた駅西側の「吉野田尾寺線」から「有野藤原線」に抜ける車道は残したままの計画となっています。住民参加によるこの夏2回目のワークショップを経て、この夏にも工事着工予定です。

山の街駅



唐櫃台駅

駅舎の建替え並びに、駅改札前に歩道や送迎スペースがないなど、「安全な駅前への再整備を目指す」とし、地元と神鉄との協議を進め、2026年度から工事着工予定です。



踏切東側の「クランク道路を滑らかな線形に変更」するとしています。今年度調査、2024年度から工事着工予定です。北側の民間宅地開発に伴い、歩行者増加を見込んでの計画ですが、いまだに開発工事は進みません。引き続き工事の安全対策を求めています。

西区児童遺棄事件 日本共産党神戸市議員団が緊急申し入れ

神戸市の対応は適切だったかを明らかにし、虐待から子どもの命を守る体制へ強化を

神戸市西区の草むらで、遺棄された6歳の児童が発見される痛ましい事件が起こりました。日本共産党市議員団は6月30日、久元神戸市長に対し、こども家庭センター(児童相談所)をはじめ、神戸市として適切な対応をしていたのか明らかにすること、虐待から子どもの命を救える体制に強化するよう申し入れました。

その後、久元市長は「他に取れる対応がなかったのか検証したい」と、第三者委員会を開催するとしています。

申し入れの全文はこちら▶



6月30日、神戸市に申し入れる日本共産党神戸市議員団

学校の過密解消を



特別支援学校や特別支援学級など過密の解消や老朽化対策、図書室など特別教室の設置などを求めています。何より先生など教職員を増やし、子どもたちに行き届いた学校環境へ改善を求め奮闘します。

市立青陽須磨特別支援学校を視察



6月5日の会派視察

北区鹿の子台小学校 特別支援学級を視察



教育こども委員会担当の松本議員と

大軍拡ストップ! 「核抑止」ではなく「核廃絶」こそ

5月に開催されたG7広島サミットは、人類史上初めて原子爆弾が投下された広島市で行われることに特別の意味がありました。しかし、発表された「広島ビジョン」は、「核抑止力」論を公然と宣言し、核兵器廃絶を願う思いを真っ向から裏切るものでした。事前に平和首長会議は、核兵器廃絶への道筋を示すよう求める書簡をG7各国首脳宛に送付しています。神戸市も平和首長会議の加盟都市です。日本共産党は、核兵器廃絶に向けた条約への早期参加を政府に求めるべきと質しました。

市民に身近な議会へ

日本共産党神戸市議員団は、改選を機にいっそう市民に身近な議会とするために以下の提案をおこない、議論されます。

- 1 質問時間を増やし、十分な質問時間の確保を
- 2 議会の役職は公平・平等に配分を
- 3 委員会で審議未了とされた議案・請願について本会議で議決できるように
- 4 土曜、日曜の議会の検討と託児所の設置を
- 5 費用弁償の廃止
- 6 政務活動費による議員の海外視察中止
- 7 委員会等視察時のグリーン車使用の廃止



非正規から正規雇用への転換を

自公政権のもとで、働く人の4割、女性や若者の5割以上が非正規となっています。男性と女性の賃金格差は、生涯賃金では1億円にもなるとのこと。一刻も早く解消していかなければなりません。日本共産党国会議員団の論戦で、常用労働者301人以上の企業は、男女の賃金格差を公表させるというルールが実現しています。ジェンダー平等の社会へ。

男性も女性も「8時間働けば普通に暮らせる」「正規があたりまえ」の社会へ。これからも頑張ります。



要望を聞く大かわら議員



メーデーで訴える議員団 (前列右端が大かわら議員)

神戸市議団

322-5847

日本共産党兵庫区事務所

577-7987



山麓地域

土砂災害対策の強化を

堰堤付近を調査する大かわら議員



側溝からの冠水で泥が残る道路



流された石のふたと鉄板

5月7日～8日の大雨により、道路冠水や法面の崩壊など市内7か所で被害がありました。

兵庫区では、夢野地域の清水町で、8日朝6時30分頃に泥水、土砂が流出。この箇所は、以前にもあふれた場所です。直前まで外の掃除をされていた近所の女性は、「ガーン!という大きな音がしたと思ったら水が流れてきてあっという間に泥水になった。」と。実際に溝にかけていた鉄板や石のふたが流されており、かなりの勢いで土砂等が流出したことがうかがわれます。さらにこの付近では床下浸水は免れたものの、「家の玄関先に7～8cmぐらい水がたまっていた」とのこと、一歩間違えば命にかかわる大きな被害となりかねません。

大かわら議員は、地域の皆さんと六甲砂防事務所、神戸市危機管理室、建設局に改善策、地域への説明会等を要望しました。

その結果、事態の原因の調査、対策工事が行われることになり、6月12日には、説明会が実施されました。



神戸市議員

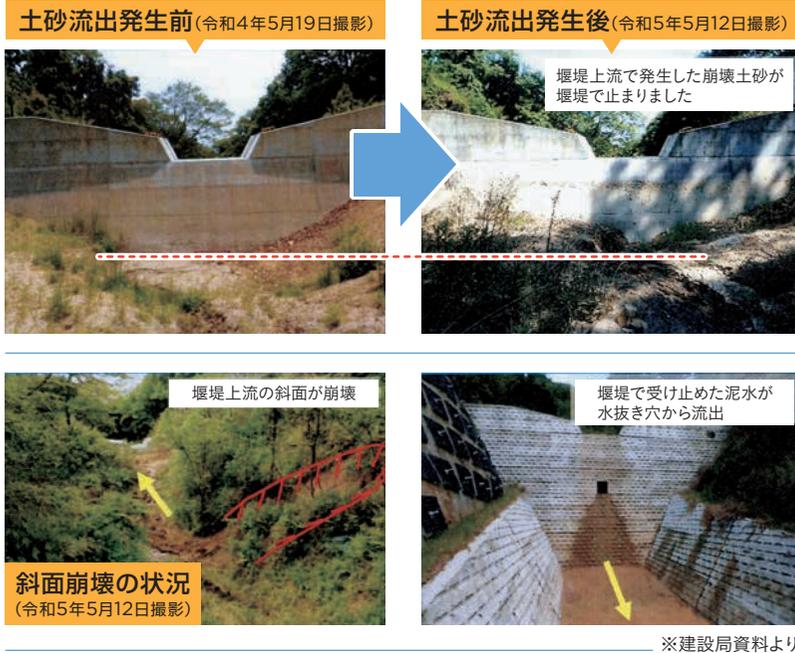
大かわら鈴子

日本共産党
神戸市会報告
兵庫区版 2023年 夏号



夢野地域で
土砂流出

行われ
ます
対策工
事が



今回の土砂流出は、大雨により堰堤上流の斜面が崩壊。砂防堰堤から流出した泥水が流路部の雑木などを巻き込みそれが側溝に詰まったため、あふれだしたとのこと。今後の対策として下記が示されました。

国土交通省 六甲砂防事務所

- 砂防堰堤にたまった土砂の除去工事
- 堰堤の水抜き穴からは、水のみで土砂が流出しない構造にするための工事

神戸市建設局

- 側溝に流木等が流れ込まないように、堰堤下流の流路に柵を設置
- 警報級の大雨が予想される場合は、側溝点検や浚渫作業を実施

問い合わせ先

道路上の泥水に関すること

道路・公園110番

☎ 078-771-7498

※休日夜間(土日祝・平日17時30分～翌8時45分)の場合
休日夜間緊急連絡センター
☎ 0120-086-106

鴨越筋堰堤に関すること

国土交通省近畿地方整備局 六甲砂防事務所

☎ 078-851-0535

避難情報に関すること

兵庫消防署

☎ 078-512-0119

避難所に関すること

兵庫区役所

☎ 078-511-2111



マイナンバーカード

トラブル続出 強行やめよ

マイナンバーカードを巡るトラブルが続出しています。政府の紙の健康保険証廃止の方針にも多くの市民から不安の声が上がっています。特に健康保険証に他人の医療情報が紐づけられていた問題は、命にかかわるものであり深刻です。また、神戸市では、マイナポイント紐づけ時の登録で4件のトラブルが発生していますが原因は不明。総務省に問い合わせても何ら手立てが示されない状況です。大かわら議員は、総務財政委員会で「原因も対策もはっきりしないまま進めるべきではない」と立ち止まることを求めました。



総務財政委員会で質問する大かわら議員

子ども家庭センター

子どもの命と成長を守る体制強化を



子ども家庭センターを視察



東部療育センターを視察

青陽須磨特別支援学校、子ども家庭センター、東部療育センターを視察しました。市内の特別支援学校では、児童、生徒数が増加して、教室が足りず、特別教室を普通教室に転用するなど苦肉の策がとられています。教育の質を担保するためにも特別教室の設置、学校の増設が必要です。

また子ども家庭センターでは、成長・発達にかかわる相談・検査等の待ち期間がながいことが課題となっており、大かわら議員は、以前から体制強化を求めてきました。現在4か月だったものが3か月に短縮したとのことですが、さらなる改善が必要です。西区でのいたましい事件もあり、子どもの命を守り成長を保障する体制強化を求めています。

加齢性難聴 補聴器助成を

加齢性難聴は多くの方に起こるものであり、認知症のリスクが高まることが指摘されています。しかし補聴器は高額であり、購入を躊躇するという方も少なくありません。神戸市として独自の助成制度を創設することを求めました。





神戸市独自の 補聴器購入助成制度を

難

聴が進むと会話が成り立たなくなったり、テレビやラジオなどの音が聞こえにくくなったり、外出する時に周囲の動きに気が付かず、危険をとまなうなど心身の健康に大きく影響してきます。ところが補聴器は高価なので購入を諦める人が多いです。兵庫県が1年限りで補聴器購入助成制度をつくりました。申請者が最も多いのが神戸市在住の方です。全国には市独自で実施している自治体が増えています。神戸市は国に制度の創設を求めるだけにとどまっています。赤田議員は、「独自に補聴器購入助成制度をつくるべき」と要望しました。



垂水区民の願いを 真っ直ぐに届ける架け橋に

神

神戸市議4期目を迎えます。今年度は福祉環境委員会の委員となりました。ご相談や要望は、赤田かつのり市議へご連絡ください。

場所

日本共産党 垂水区生活相談所
陸ノ町1-27 電話:705-1700

または

日本共産党 神戸西地区委員会
坂上4-2-16 電話:753-5287



G7サミット

「核抑止」ではなく 「核廃絶」こそ

被爆者から落胆の声

5月19日から21日までG7広島サミットが開催されました。人類史上初めて原子爆弾が投下された都市での開催です。しかし、G7首脳が出した「広島ビジョン」は、「核抑止力」論を公然と宣言し、核兵器廃絶を期待する声を真っ向から裏切るものとなりました。



5月26日に神戸市議会本会議が開かれました。日本共産党神戸市議団を代表して、赤田かつのり議員が登壇し、一般質問を行いました。

神戸市は平和首長会議に加盟しています

G7開催に先立って5月11日に、平和首長会議は、書簡をG7各国首脳に送付し、核兵器廃絶への道筋を示すように求めています。

平和首長会議とは

1945年8月、広島と長崎両市は原子爆弾によって一瞬にして廃墟と化し、21万人を超える尊い命が奪われました。原子爆弾は、その投下から70年以上が経過した今日でも、放射線による後障害や精神的な苦しみを市民に残しています。平和首長会議は、世界の都市に国境を越えて連帯し、ともに核兵器廃絶への道を切り開くことを呼びかけて、1982年に、当時の広島市長の呼びかけで設立されました。神戸市は2010年1月に加盟し、現在、166カ国・地域、8259都市が加盟しています(2023年6月1日現在)。

つまり神戸市が加盟している平和首長会議の書簡と「広島ビジョン」とは、明らかに核兵器に対する態度は違います。

赤田議員は、「神戸市も平和首長会議の加盟

都市です。政府に対し、核兵器廃絶へ向けた条約への早期の参加を求めるべきではないですか」と質しました。

「核抑止」宣言を「望ましい」と擁護する久元市政

ところが赤田議員の質疑に対し、副市長は「私の個人的見解だが、G7で話し合われたことは現実的なアプローチで基本的に望ましいこ

とだと考える」と答弁しました。久元市長は一切答弁しませんでした。

神戸市は市民の運動によって非核・平和のまちづくりを進めてきました

神戸市は1962年に平和都市宣言を、1975年には非核「神戸方式」を、翌1976年には非核平和都市宣言を市議会でも決議しています。さらに、2010年に平和首長会議に加盟しており、非核・平和の

まちづくりを進めて来た歴史をもつ町です。核戦争の危険がある時だからこそ、神戸市は地方自治体として、平和首長会議の書簡の立場で国に意見を上げるべきです。

神戸市会議員

赤田かつのり

すぐに動きます。
いつでも、あなたの力に。

KATSUNORI AKADA

事務所連絡先

垂水区坂上4-2-16 TEL/753-5287 FAX/753-5289
mail/jcpkobewest@sea.plala.or.jp

日本共産党 神戸市会報告
垂水区版 2023年 夏号

発行 日本共産党神戸市会議員団 神戸市中央区加納町6-5-1 神戸市議会内
TEL 322-5847 FAX 322-6165
市議団HP <http://www.jcp-kobe.com/>

日本共産党神戸市議団

検索

駅周辺の再開発は 住みよく快適なものでこそ

垂水の玄関口である駅前の再開発。魅力あるまちづくりにつながることを多くの区民が求めています。

当初よりも高層の

タワーマンションを建設

現在、垂水駅前商店街東側の一角に地上32階建て、戸数最大約310戸の高層タワーマンションの建設準備が進められています。しかし、当初の計画は約220戸（地上25階と地下）でした。このタワーマンション内には約180台分の駐車場が設置されます。

しかし、すぐそばに垂水小学校があり児童が通学しています。仕事や買い物、通院で歩行する人たちで行き交っています。このままの計画では、駅中心部に人口が集中し、学校などの公共施設が過密になります。交通安全やビル風、周辺の日照権などの不安は解消されません。



マンション建設を計画している商店街東口付近（神田町）

● 神戸市の責任で住みよく快適なものにするべきです

赤田議員は、「住みよく快適に生活できるような垂水駅周辺の再開発にならないのではないのでしょうか。垂水区民の意見や要望をしっかりと聴取して、駅周辺が住みよく快適なまちづくりになるように、計画を見直すべきではないですか」と神戸市に問いいただきました。



要望していきます

🌱 中学校給食は学校調理で

「温かい給食を」と願う生徒や保護者の声が上がリ、署名運動も力になって、「全員給食の中学校給食」への移行が決まりました。しかし、給食センターと民間デリバリーの食缶方式中心が進められ、区内でも整備が進められています。しかし市内には、小学校の調理室から配送する親子方式を実施する計画の学校もあります。子どもたちにとって最善の選択をするべきです。日本共産党議員団は、安全・安心で食育も進められる自校調理や親子方式をすべての学校で実施するよう求めています。



🌱 お金の心配なく給食が食べられるように

憲法第26条は、義務教育は無償と定めています。小中学校の給食費の無償化を求めています。



垂水駅前で訴える赤田議員

🌱 高校卒業までの医療費無料化を

日本共産党議員団は市議会で通算90回、繰り返し質問をするなど、運動によって子どもの医療費助成を前進させてきました。10月から外来医療費窓口負担が400円になります。引き続き完全無料化を求めています。



一人ひとりの子どもたちへの行き届いた教育を実現するために、**高校生まで少人数学級を**広げていきます。



带状疱疹ワクチンは医療保険が効かないので接種費用が高くなります。**助成制度の実施**を求めています。

政治をもとから 変える改革を

日本共産党 神戸市会議員団

6月21日閉会した通常国会。医療や年金のために積み立ててきたお金や、復興特別所得税の延長による増税を財源とする軍拡財源確保法。紙の健康保険証を廃止しマイナンバーカードに置き換える法など、国のあり方を大きく変え、市民の暮らしにも関わる法律が、岸田内閣によって次々と強行されました。

神戸市政においても「アメリカいいなり」「財界のもうけ最優先」のゆがんだ岸田内閣・自民党政治に、久元市長が追従して新自由主義的政策を押し進めているなかで、住民の利益と反することが次々と起こっています。

改選後の初の神戸市議会（5月12日～26日）において、日本共産党神戸市会議員団は、9名の議員が、住民の皆さんから寄せられた願いの実現に取り組むとともに、政治のゆがみを「もとから変える」質問をおこないました。

5月17日には朝倉えつ子議員が議案質疑を、26日には赤田かつのり議員と前田あきら議員が一般質問を本会議でおこないました。

大企業のもうけ優先ではなく 住民本位に転換を— 駅前再開発

名谷駅前の再整備では、「避難場所の駅前広場が閉鎖になった」「唯一の歩道をなくすロータリー改修案が示された」などの不満の声が出される一方、駅から離れたところでは「廃園された幼稚園が4年間放置」され「スーパーが撤退して1年になる」など、住環境に悪影響がでています。

久元市長が駅前再開発を、住民や利用者の意見を聞かず、マンションなど「民間住宅投資の誘導」を目的としてトップダウンで進めていることが原因です。

前田あきら議員は、大企業のもうけ優先ではなく、住民や利用者の意見から出発した駅前再整備へ見直すべきだと指摘。さらに、緊急性のない事業は止めてでも、郊外地域など住まいの近くの問題解決を優先すべきと求めました。



5月26日一般質問に登壇する
前田あきら議員



済生会兵庫県病院— 統廃合やめ今の場所で存続を



済生会兵庫県病院が三田市民病院と統廃合され、病床をへらし、今の北区藤原台から5キロ以上も離れた場所に移転させられようとしています。しかし神戸市は、病院存続のための対策をとらず、統合しないと「病院がつぶれる」などと脅し文句で、「再編統合」を後押ししています。国の新自由主義的な「医療費抑制」ですすめられている「地域医療構想」のおしつけが、強引な病院統廃合の背景にあります。

朝倉えつ子議員は、「病院・病床を削減することに不安しかない」「遠い所への移転は、私にとっては病院廃止と同じだ」という声が多く寄せられていることを示し、統合移転ありきの計画は、撤回すべきと求めました。



5月17日 議案質疑に登壇する
朝倉えつ子議員

アメリカいいなりの大軍拡ストップ！ 「核抑止」ではなく「核廃絶」こそ



G7広島サミットは、いざとなれば核兵器を使用する「核抑止力」論の立場に立つ「広島ビジョン」を発表。アメリカの核戦略に縛られ、核兵器廃絶をもとめる被爆者の思いを裏切るものであり、議長国・日本の岸田首相の責任は重大です。

赤田かつのり議員は、平和首長会議の加盟都市・神戸として、核兵器廃絶に向けた条約への早期参加を政府に求めるべきだと質しました。

5年間に43兆円もの大軍拡をすすめる軍拡財源確保法についても、アメリカが大軍拡を岸田首相に求めたことを、バイデン大統領自身が明らかにしています。

赤田議員は、神戸市として、同法案の成立と具体化に反対し、市民の暮らしと平和を守るよう求めました。



5月26日一般質問に登壇する
赤田かつのり議員

費用弁償の廃止や海外視察を中止し、公正で開かれた

神戸市議会への改革を提案

5月1日、日本共産党神戸市会議員団は、議会の不要な予算を削減するとともに、審議・質問時間の拡大や、土日議会の開催など開かれた議会への改革を提案しました。

申し入れの
全文はこちら▶



物価高騰から生活を守り、 政治の責任で働く人の 賃金と待遇改善を

日本共産党 神戸市会議員団



第94回兵庫県メーデー神戸中央大会（4月29日）と第94回兵庫中央メーデー（5月1日）で訴える日本共産党神戸市会議員とこむら潤日本共産党兵庫県国政委員長（写真左中央）



増え続ける 児童虐待

松本のり子議員 **東灘区**

- ▶ 教育子ども委員会

こども家庭センター（一時保護所）への2022年度の相談・通告件数は2,733件です。

実父母からの虐待が92%を占めているため、再発防止のカウンセリングや研修会の重要性を質しました。神戸市は「研修会を受けるように勧めているが難しいのが実情」と答弁。家庭センターに再び保護される子どもが多いため、加害者教育が欠かせません。



物価高・インボイスの 負担から市民守れ

西ただす議員 **東灘区**

- ▶ 経済港湾委員会
- ▶ 大都市行財政制度に関する特別委員会（理事）

今、物価高により事業者の倒産が急速に進み、さらに10月からはインボイス制度で多くの中小事業者・フリーランスが新たな消費税の負担となる問題について質問。

市は多くの不安の声が上がっていることを認めつつも「GDPは回復傾向にある」などとし「新たな対策も調査をしない」との答弁に対し「市として市内事業者を支援し、神戸経済に責任を持つべきだ」と追及しました。



王子公園への 大学誘致中止を

味口としゆき議員 **灘区**

- ▶ 建設防災委員会（副委員長）
- ▶ 議会運営委員会（理事）
- ▶ 未来都市創造に関する特別委員会（理事）

「王子動物園リニューアル基本構想」について、動物福祉の立場から動物園面積を広げることを建設局に求めました。

SDGsの観点からも、動物園の魅力向上からも、大学が誘致されれば動物園を広くすることは出来ない指摘し「建設局として、大学誘致はやめるよう声をあげるべき」と強く求めました。



マイナンバーカード 強行やめよ

大かわら鈴子議員 **兵庫区**

- ▶ 総務財政委員会
- ▶ 外郭団体に関する特別委員会（理事）

マイナンバーカードを巡るトラブルが続出。市民から不安の声が上がっています。神戸市でも、マイナポイントひも付け時の登録で4件のトラブルが発生していますが原因は不明。総務省に問い合わせても何ら手立てが示されない状況です。「原因も対策もはっきりしないまま進めるべきではない」と立ち止まることを求めました。



権利に見合う 改善を！

朝倉えつ子議員 **北区**

- ▶ 福祉環境委員会（委員長）

生活保護は、憲法25条が「国民の生存権」と明記し、暮らしを守る最後の砦です。国はこの間、社会保障費削減のためと生活保護費と生活扶助費のカットを繰り返してきました。さらに神戸市は「生活保護制度の見直し」として、受給世帯の医療費一部負担金導入の検討を、国に求めています。国追従ではなく、セーフティネットとしてふさわしい制度へと、市として改善を求めるべきです。



大量の市営住宅の 空き室を募集に まわせ

森本真議員 **長田区**

- ▶ 都市交通委員会

建築住宅局の質疑で、毎回高倍率となっている市営住宅募集問題をとりあげました。市全体で2,000戸の市営住宅の空き住戸があり、そのうち長田区では570戸が空き住戸となっています。地域改善向け住宅の一般住宅化も進められており募集戸数を増やすように質しました。

また、都市局質疑では「王子公園への大学誘致撤回」の陳情が出され、大学誘致ありきの当局姿勢を質しました。



子どもたちに 必要な予算を

前田あきら議員 **須磨区**

- ▶ 教育子ども委員会
- ▶ 議会運営委員会
- ▶ 外郭団体に関する特別委員会

中学校給食は学校調理で早期実施を 「温かい給食」を求める署名運動が力になり「全員喫食の中学校給食」への移行が決定。安全安心で食育指導ができる学校調理室での実施を求めました。

学童保育でも給食実施へ 夏・冬休みの間の給食を求める子育て世代の切実な声を届け、神戸市は「給食調理センターから配送による実施を検討」と回答しました。



マイナンバー制度を基盤に した医療DX推進は危険

赤田かつのり議員 **垂水区**

- ▶ 福祉環境委員会
- ▶ 未来都市創造に関する特別委員会

神戸市は国に対して、マイナンバー制度を基盤にした医療DXの推進を強力に求めています。医療情報は極めて重要な個人情報です。誤った情報が全国の電子カルテで共有されると危険です。「医療情報の誤ったひも付けが多数発生している時に推進を求めるべきではない」と主張しました。



地下鉄駅構内の 女性用トイレ改善を 新型コロナで減便した 市バス回復へ

森田たき子議員 **西区**

- ▶ 都市交通委員会
- ▶ 大都市行財政制度に関する特別委員会

駅的女性用トイレは、男性用に比べ少なく、行列になり苦痛となっています。トイレの男女間の格差解消、改善を求めました。

市バスは新型コロナ感染拡大で22路線で296減便し、市民の方からの「バスがあるから車を止めたのに痛手です」と声を示し、乗客数は回復傾向にあり元に戻すよう求めました。神戸市は「回復目標は令和3年の乗降客数」と回答。

西区児童遺棄事件 日本共産党神戸市会議員団が緊急申し入れ

神戸市の対応は適切だったのかを明らかにし、 虐待から子どもの命を 守る体制へ強化を

西区の草むらで遺棄された6歳の児童が発見されるという痛ましい事件が起きました。

事件で日本共産党神戸市議団は6月30日、久元市長に、こども家庭センター（児童相談所）をはじめ神戸市が適切に対応していたのか明らかにすることと、虐待から児童の命を守る体制の強化を緊急に申し入れました。



6月30日、神戸市に申し入れる日本共産党神戸市会議員団

- ▶ 4月に保育園から虐待の疑いの通報があったのに、なぜ立ち入り調査など徹底した調査をせず、虐待の重症度を低く判定したのか
- ▶ 5月に母親が一時保護を要請したのに、なぜ叔父の「家族で見る」との回答をもって一時保護しなかったのか
- ▶ なぜ民生児童委員の聞き取りなど積極的な情報収集をしなかったのか——など5点の疑問を提示して質しました。

党議員団はこれまででも、2020年のこども家庭センターに夜間相談にきた児童を追い返した事案も受け、「行財政改革」の名で職員を削減し、民間任せで脆弱にされてきた人管理体制の強化を一貫して求め、本年3月及び6月の委員会でも、虐待事案を機敏につかみ適切かつ十分な体制で対応できるよう、人員の強化を求めてきました。

「支援が必要な児童として区役所が対応するもとの虐待が疑われるケースなのに、なぜこども家庭センターは積極的に調査しなかったのか。救える命ではなかったのか」。党市議団は、7月6日、教育子ども委員会委員長に対し、神戸市議会としても速やかに委員会を開催し、真相を糾明するよう求めました。

申し入れの
全文はこちら▶



市会かわら版

日本共産党 神戸市会報告 灘区版

2023年7月第22号

灘区のみなさんに期待を寄せていただき、4期目の市議会での活動をスタートさせていただいております。神戸市会議員団は、定数減のもとで、現有9議席を維持し、議席占有率を前進させることができました。

再選の翌日から、駅頭や、水道筋商店街や市場でごあいさつさせていただきますと、

「王子公園の問題、よろしく願いわ」「困っている人のところへ駆け回っている。その姿勢のまま頑張りよ」

「戦前にならないように、しっかり頑張ってる」

と、あたたかい心のこもった期待と激励を受けました。

議会では、建設防災委員会・副委員長、未来都市創造に関する特別委員会・理事、市会運営委員会・理事を務めることになりました。

みなさんとお約束した公約の実現へ、これからも地道に駆け回る議員として頑張ります。

引き続き、よろしく願いいたします。



あじ ぐち

神戸市会議員

味口としゆき

王子公園・動物園の充実を

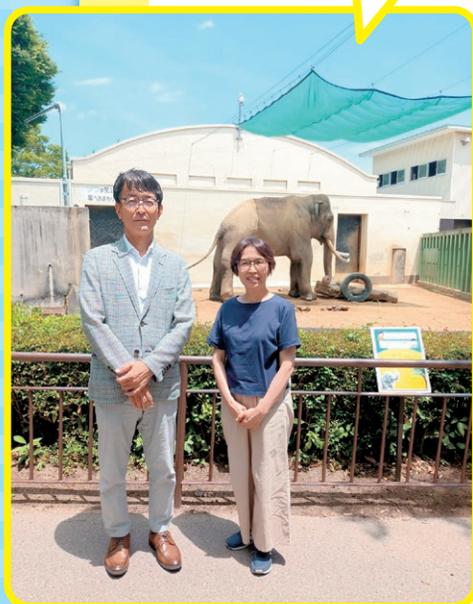
市民の声を無視しての「大学誘致」はやめるべき!



王子動物園前で署名を集める味口としゆき議員

「大学誘致ではなく、王子公園・動物園の充実を求める」署名は、ついに70,000人を超えました

まだ大学誘致は
決まっていません!
引き続き声を上げます!



ふじすえ ひろみ党兵庫1区
ジェンダー平等委員長と
王子動物園を視察

久元市長は、大学誘致について、この市民の声を無視して大学公募を開始し、「多数の大学から『行きたい』という申し出がある」などと強行。しかし、事前登録も、本応募も関西学院大学1校のみであるにもかかわらず、**関西学院大学に公園の一部を100億円で売却し、プールやサブグラウンドなどの公園内の施設を廃止・縮小、動物園の一部の配置転換をおこなう**としています。

味口としゆき議員は、5月19日建設防災委員会で、王子動物園のリニューアルについて質疑し、動物福祉の立場から動物園面積を広げることが求めました。大学誘致すれば、動物園を広くすることはできないので、**「建設局として、大学誘致はやめるべきと声をあげてほしい」と強く求めました。**

引き続き、「大学誘致より、王子公園・動物園の充実を」と頑張ります。

これまでの経過

2023年
1、3月

みんなの王子公園&動物園の会
関西学院大学を訪問。「応募しないで」と懇談

4月

関西学院大学1校のみが応募

久元神戸市長は「うちの大学は行きたいという申出も多数」としていたが、結局関学1校の出来レースに

6月

神戸市が関西学院大学を**優先交渉権者に選定**したと発表



虐待から子どもの命を守る体制へ強化を

申し入れの全文はこちら▶



神戸市西区の草むらで6歳の児童が遺棄された事件で日本共産党神戸市議団は6月30日、久元喜造市長に、こども家庭センター(児童相談所)をはじめ神戸市が適切に対応していたのかを明らかにすることと、虐待から児童の命を守る体制の強化を緊急に申し入れました。

味口としゆき議員は、2020年2月、夜間に助けをもとめた児童をこども家庭センターが追いついた問題を議会で取り上げ、「虐待などから子どもの命を救う岩であるこども家庭センターの職員強化」を繰り返し求めてきました。

しかし、神戸市は行財政改革と称して、職員削減をすすめ、こども家庭センターでも虐待通報件

数の増加に見合う職員数がいまだ確保されていません。このもとで、支援が必要な児童として虐待が疑われるケースであるにも関わらず、こども家庭センターが積極的に調査できなかったのではなかったか、真相の究明が必要です。味口議員は、「救える命ではなかったのか、子どもの命を救える体制の強化を」と強く求めました。



神戸市に申し入れをする議員団

大増税・大軍拡ではなく、くらし子育て応援を

軍拡財源確保法は、5年間に4.3兆円もの大軍拡で、暮らしに関わる予算を圧迫し、世界第三位の軍事大国となって周辺諸国に脅威を与え、神戸市民の暮らしと平和を脅かすものです。

日本共産党神戸市議団は、神戸市として、国に対し、法の成立や具体化に反対するよう求めました。(5月26日本会議)



7月10日平和行進に参加する味口としゆき議員

住みやすい灘区めざして、駆けまわります!

成徳小学校のご近所の方から

「JR灘駅の南側にもエスカレーターを設置してほしい」

という声が駅利用者から寄せられています。6月8日、建設防災委員会で、味口としゆき議員は JR 灘駅南側の再整備問題について質疑し「北側にはエスカレーターがあるのだから、当然南側にも必要だ」と求めました。局長は、他部局とも相談し「検討したい」と答弁しました。



「校門前の植栽が伸びていて、低学年の子どもが、車から見えないので何とかならない?」

と連絡があり、早速、現地に行き、東部建設事務所に対策をお願いしました。すぐに、対応してくれ、このようにスッキリ見通しが良くなりました。

Before



After



なんでも相談会やっています

日本共産党東灘・灘・中央地区委員会
(神戸市灘区灘南通5-2-2-1)

- 8月19日(土) 午後3時~5時
- 9月23日(土) 午前10時~12時
- 10月21日(土) 午前10時~12時



弓木相談会(神戸市灘区弓木町2-3-16)

104号室をお借りしています

- 8月20日(日) 午後3時~5時
- 9月24日(日) 午前10時~12時
- 10月22日(日) 午前10時~12時



くらし、お仕事、ご商売、学校や子育てなどお気軽にご相談ください!



相談を聞く味口としゆき議員

みなさまのご意見をお待ちしております

- 日本共産党 東灘・灘・中央地区委員会
TEL.078-881-2581 FAX.078-882-5402
E-mail:aji1020@hotmail.co.jp
- 市会控室
TEL.078-322-5847 FAX.078-322-6165

外郭団体特別委員会審査から①

神戸市議会外郭団体に関する特別委員会の審査が7月7日と26日にひらかれ、日本共産党神戸市会議員団の大かわら鈴子議員と前田あきら議員が外郭団体の運営状況などについて質問しました。

7月7日 経済観光局

ファッション
マーケット

株式会社神戸商工貿易センター

地域振興のために 既存事業者への支援を

——— 大かわら鈴子議員

株式会社神戸商工貿易センターが管理運営をおこなう神戸ファッションマートの入居率は、2017年から81~83%（店舗とオフィスを合わせて）で推移している中、コロナ前から経営している店舗の方々からは「営業が大変、いつまで続けられるか」という不安の声があがっています。大かわら議員は「初出店する方には2年間の賃料免除があるが、その後の縛りはなく自由に退去可能。これでは入居率は上がるが定着は難しい」と指摘。初出店に限らず頑張っている既存事業者

への支援を強化し、イベント開催など様々な施設との連携をはかり、六甲アイランドの活性化へのさらなる取り組みを求めました。

答弁ダイジェスト

総務部長：コロナ禍では家賃の減額支援をおこなった。今はイベントの誘致やSNSやラジオを通じて店舗の紹介など集客強化の取り組みに力を入れている。

大かわら議員：コロナで開催が中止になっている“市”CLUBは、多い時は1万人の方が来て、市民の方も（開催を）楽しみにしていると聞いている。今は特に物価高騰で購買意欲が下がっているの、状況を見ながら再開すべきではないか。

総務部長：今すぐに再開は考えていないが、今後状況を踏まえて検討したい。

大かわら議員：24年の春にファッショ



ンプラザがリニューアルオープンするが、ファッションマートにその情報が伝わっていないと聞いている。情報共有を図りながら活性化につなげる取り組みの強化が必要だ。

瀬合副局長：神戸市としてもいろいろな部局が関わって展開している。島内や事業者の方々に周知が行き届くよう努力したい。

公益財団法人 神戸市産業振興財団

中小企業の振興施策を 推進する条例の制定を

——— 前田あきら議員

公益財団法人神戸市産業振興財団は、神戸の中小企業の技術・製品情報の発信など、支援事業をおこなっています。前田議員は「地域に根差す中小業者を活性化させることこそが、地域住民の暮らしの向上につながる」と指摘し、兵庫県の



ように中小企業の支援施策として振興条例を制定し、活性化に向けて神戸市全体で共有・推進するといったブランドビジョン的な戦略を明確に示すべきと質しました。

答弁ダイジェスト

前田議員：神戸市の2025ビジョンでは中小企業に特化した記述もなく、位置づけも明確ではない。以前は経済観光局として活性化プログラムをつくり、中小企業を発展させることが神戸経済の鍵だと位置づけていたのではないのか。

瀬合副局長：今から基本構想、基本計画、そして2030ビジョンがつけられていく。そこでどのような伝え方、記述の仕方をするのかは引き続き研究・検討をしていきたい。

前田議員：神戸の歴史と風土を基盤に成長した地場産業を発展させ、地域に根差して暮らしに身近な産業として中小企業を位置づけて活性化させることが今の基本構想だ。単年度ごとのビジョンにと

どまらず、中小企業の活性化を推進する条例の制定など、市民に共有できるものをつくるべきだ。

9月14日より 9月議会がはじまります

9月14日	本会議 (議案質疑 未定)
9月15日・19日 21日・22日	常任委員会 本会議 (代表質疑)
25日~10月4日	決算特別委員会 局別審査
10月10日	決算特別委員会 総括質疑
10月12日 16日	意見表明・意見決定 本会議 (議案質疑 未定)
17日・18日 23日	常任委員会 本会議 (討論)
24日	本会議 (一般質問)

会員の負担増やさず就業率と 会員サービス向上こそ

——— 大かわら鈴子議員

公益財団法人神戸いきいき勤労財団が運営するシルバー人材センターは、政令市で唯一会費無料を貫いていたセンターでしたが、10月から始まるインボイス制度による経費負担増の影響で、会員に対して年額2400円の会費徴収を決めました。さらにこれまで各センターに配置されていた就業開拓員を2020年度から外部委託し、本部に一括集約しています。大

かわら議員は「これでは体制強化ではなく経費削減だ。会員就業率が51.6%と低い上に、会員に負担を求めるなどあってはならない」と質しました。

答弁ダイジェスト

大かわら議員：会員の配分金の引き下げはどうなるのか。

常務理事兼事務局長：配分金の引き下げは考えていない。会費の徴収は会員サービス向上に注力するためだ。就業率が低い点は真摯に受け止めたい。

大かわら議員：就業開拓員を集約して効果が上がるなら外部委託はやめて、これまで蓄積されたノウハウを活かして就業率を上げるべきだ。

常務理事兼事務局長：これまでの地域に密着した事業でも一定の実績があるが、短くても高齢者が参画できる新たなビジネス領域を開拓するために本部を設立した。

大かわら議員：強化すると言うが、経費を節約し会員に負担を増やしているのは問題だ。

大畑局長：会費は月額にすると200円だ。会員に情報を瞬時に提供するシステムをスタートさせた。サービス向上のために会費を使う。

大かわら議員：みなさんは少ない配分金で頑張っている。そこに負担を求めることは財団の設立趣旨からしても本末転倒だ。

加入要件緩和実現！ さらに事業者が求める サービスの拡大を

——— 前田あきら議員

ハッピーパックは、公益財団法人神戸いきいき勤労財団が運営する、個々で独自に実施することが難しい事業者への福利厚生制度です。昨年の当委員会で我が会派の山本じゅんじ前議員が加入要件の拡大を要望し、個人事業主(一人親方含む)と市外事業者と従業員も加入対象となり要件緩和が実現しました。さらに会員本人に限りインフルエンザワクチンの助成が決まりました。前田議員は、今減っているハッピーパックの加入企業が増えるよう制度の周知を図り、新しいサービ

スの拡大も検討すべきと求めました。

答弁ダイジェスト

常務理事兼事務局長：要件緩和後の(一人親方の)加入は5社。徐々にダイレクトメールや電話での当り手は手応えを感じている。引き続きマンパワーを動員し制度の拡大に努めたい。

前田議員：例えば一人親方を一定つかんでいる団体そのものに対しても新しいインフルエンザワクチンの助成も含めてPRしてはどうか。

常務理事兼事務局長：ご指摘のとおりだ。一人親方を横串するようなネットワークも活用しながら制度のPRに努めたい。

前田議員：インフルエンザは家族から罹患することも想定されるので、会員に限らず配偶者や家族にも助成を拡大してはどうか。

常務理事兼事務局長：利用状況を勘案しながら制度の浸透を図っていきたい。

前田議員：ひょうごファミリーパックでは配偶者も対象としている。今後の接種状況や事業者の実態も調査し、広報とともにさらなる拡大も検討すべきだ。

その他の質問

一般財団法人 神戸観光局

- SDGs教育旅行誘致について
——— 大かわら鈴子議員
- ラグジュアリー層をターゲットにした投資の費用対効果と地域観光について
——— 前田あきら議員

一般財団法人 神戸農政公社

- 休耕田等の活用による給食ファーマーについて
——— 大かわら鈴子議員

7月26日 文化スポーツ局

映画発祥の街だからこそ訪れたい ような映画のイベントや情報の発信を

——— 大かわら鈴子議員

公益財団法人神戸市民文化振興財団が管理運営するアートビレッジセンターは、4月に新開地アートひろばとしてリニューアルオープンしました。親子での来館も増え雰囲気も明るくなり、地域の皆さんに喜ばれています。しかし、以前地下にあったKAVCシネマがなくなり、

復活を望む声もあがっています。大かわら議員は「貸館だけではなく、積極的に映画のイベントを開催し、(新開地が)映画発祥の地であることをもっと広めることが必要だ」と質しました。

答弁ダイジェスト

宮道局長：民間の小さな名画座がずいぶん増えたので、KAVCシネマは一定役割を終えたと思っている。

大かわら議員：2年前におこなわれたネットモニターアンケートでは、映画の評価や満足度がとても高かった。アートひろばでも映画ウィークなどのイベント

を設けてはどうか。

宮道局長：もともと新開地は映画の街であり、今はパルシネマも含めて湊川辺りまで映画の上映会をおこなっている。今後も地域と協力して進めていきたい。

その他の質問

- こうべ市民美術展について
——— 大かわら鈴子議員

公益財団法人 神戸市スポーツ協会

- 体育館指定管理とスポーツ振興事業について
——— 大かわら鈴子議員

ぜひご視聴ください

味口としゆき議員と朝倉えつ子議員が
代表質疑に登壇します 場所 市議会本会議場

9月22日(金)10時開会

質疑時間は「神戸市会事務局(市役所代表331-8181)」または「日本共産党神戸市議員団」にお問合せ下さい。

外郭団体特別委員会審査から②

神戸市議会外郭団体に関する特別委員会の審査が7月26日と8月8日にひらかれ、日本共産党神戸市会議員団の大かわら鈴子議員と前田あきら議員が外郭団体の運営状況などについて質問しました。

7月26日 市長室

御影市場・旨水館

公益財団法人 神戸国際コミュニティセンター

他のテナントと協力し 阪神電鉄に事業継続求めよ

——— 前田あきら議員

公益財団法人神戸国際コミュニティセンターは、2021年に本社を三宮から新長田に移転したことに合わせ、三宮と御影に「にほんごプラザ」を開設しました。しかし、この御影のプラザが入居した御影市場・旨水館は、所有者である阪神電鉄から高架の耐震補強工事のために立ち退きを迫られています。過去に阪神電鉄は有楽名店街で耐震性を理由に撤去を求めた事案がありましたが、結局は耐震性

に関係なく、阪神電鉄の都合だったことが裁判で明らかになっています。前田議員は「638万円も市民の税金を使って内装工事をしたのに、3年も経たずに追い出しとはあまりにもひどい話だ。市場を通してだけでなく、神戸市が事業を継続できるよう阪神電鉄に求めるべき」と追及しました。

答弁ダイジェスト

前田議員：内装工事を始める段階で立ち退きの話はなかったのか。内装工事費は返ってくるのか。

常務理事兼事務局長：もともと（立ち退きが）わかっていたら入居していない。協議の推移を見守りつつ、できるだけ財産の毀損がないように努めたい。



前田議員：近くに外国人労働者がたくさんいて、人通りも多いということでこの場所が選ばれて開設した。テナントとして直接阪神電鉄に権利主張すべきだ。

常務理事兼事務局長：市場の存続は経済観光局の所管だ。情報収集に努め適切な対応を考えたい。

前田議員：情報収集だけでなく、市場や他のテナントと連携して阪神電鉄に強く事業継続を要望し、所管が違うのであれば神戸市の責任で対応すべきだ。

その他の質問

- 在留外国人への包括支援について

——— 大かわら鈴子議員

7月26日 建築住宅局

一般財団法人 神戸住環境整備公社

「住まいは人権」

～要配慮者への供給支援強化こそ～

——— 大かわら鈴子議員

一般財団法人神戸住環境整備公社は、高齢者・障がい者・子育て世帯等住宅確保要配慮者の入居を拒まない住宅（セーフティネット住宅の登録）の増加を目的として、賃貸住宅オーナーへの相談や入

居の支援をおこなっています。今年1月に入居者4名が亡くなった火災は、生活困窮な単身高齢の方が多く入居していた兵庫区のセーフティネット住宅で起きました。この火災の背景には要配慮者の方が民間住宅になかなか入居できないという現実があります。大かわら議員は、要配慮者の実態の把握とオーナーへの広報を徹底し、登録件数の明確な目標を定めて計画的に進め、低廉で良質な住宅の確保と命を守るための取り組み強化を求めました。

答弁ダイジェスト

根岸局長：高齢者や障がい者の方々がどこに住んでいて、どのような困窮状態かを把握するのは非常に困難だ。当然（住宅を）増やしていきたいと思っているが、今は目標を掲げていない。

大かわら議員：2022年度は賃貸住宅オーナーの相談件数が93件となっているが、セーフティネットの登録まで至ったのはどれくらいあるのか。

住環境部長：13戸。

大かわら議員：13戸では少ない。ただ相談に来るのを待っているだけでは進まない。広報はきちんとしているのか。

住環境部長：オーナーにダイレクトメールを送っている。

大かわら議員：なぜ登録が必要なのかを伝えることに意義があり重要だ。改正住宅セーフティネット法自体が対象者の規模が小さ過ぎること、家賃の低廉化の仕組みが不十分であることが国会でも問題になっている。その部分を局と一緒に補いながらきちんと進めていくことが必要だ。「住まいは人権」という立場で取り組みを強化すべきだ。

その他の質問

- 困難な問題を抱える女性への住宅の供給支援について

——— 前田あきら議員

- 団体再編（デューデリ価格など）の妥当性について

——— 前田あきら議員



須磨パティオ

株式会社こうべ未来都市機構

住民や利用者の声聞き、 無料駐輪場の増設を

—— 前田あきら議員

株式会社こうべ未来都市機構は、管理運営する須磨パティオ用の無料駐輪場を廃止して、その跡地に新たに北須磨支所が入るビルを建設中です。駐輪場は別の場所に立駐型で移設されましたが、利用者からは「段差があり足の不自由な方には使いにくい」「通路が細く子ども乗せ自転車は通りにくい」など意見が上がっ

ていました。

元の場所に駐輪場をつくってほしいという要望を受け、新北須磨支所ビルの1階部に100台程度の駐輪場（3時間以上は有料）が整備されることになりました。前田議員は、建設局の駐輪場もパティオ駐輪場も終日無料だと指摘し、新北須磨支所ビルだけわざわざ有料にする妥当性を質しました。

答弁ダイジェスト

前田議員：本来計画を決める前に利用者や住民からの意見を聞いて進めるべきではないのか。もとの北須磨支所もパティオの時間制限なく無料だったのに、新

しい支所を有料にする必要があるのか。

代表取締役専務：北須磨支所の利用者（の駐輪時間）が3時間以上になることはない。支所に集中して利用者が止められなくなると困るので、通勤・通学などで（長時間）利用される方には有料の負担をいただきたい。

前田議員：理屈にならない。（通勤・通学用の）駐輪スペースが足りていないのだから、無料の駐輪場を増やすように建設局に求めるべきだ。

その他の質問

● まちづくり公社との事業編成について

—— 前田あきら議員

株式会社神戸サンセンタープラザ

区分所有者の要望に耳を傾け 最大限の合意形成を

—— 大かわら鈴子議員

株式会社神戸サンセンタープラザが運営を担う、さんプラザ・センタープラザ・西館は、神戸市が公表した「三宮周辺地区の再整備基本構想」において「建替え・更新が望まれるエリア」とされており、これまで60名の理事のみを対象に10回「今後のビルのあり方検討会」を開催し、再整備の方向性についての検討がおこなわれてきました。大かわら議員は、これまで検討会に出席されていない方が多数いること、さらに区分所有者へのアンケートの回収率が6割弱であることを

厳しく指摘し、意思表示していない方が取り残されてしまうということがないように最大限合意形成し、皆さんが同じ思いで進めていくべきと追及しました。

答弁ダイジェスト

光平担当部長：方向性の決定は、あり方検討会の中で個別にするのではなく、理事を含めたアンケートの中で意向確認をおこなう。

大かわら議員：検討会に出席していない方もおり、アンケートの回収率も6割の状況でどのように意見を聞くのか。

光平担当部長：今年度は全区分所有者も対象とした検討会もおこなう。案内は館別におこなう予定にしている。

大かわら議員：館別でおこなうなら出欠を把握して個別の働きかけをすべき。アンケートでは「時間をかけてでも丁寧

に意見を聞きながら進めてほしい」「サブカルチャーな特徴を生かしてほしい」という回答が多かった。どこの都市にでもあるような特徴のないものにするのではなく、これまでのレトロな雰囲気や特徴を守り引き継いでいくべきだ。

その他の質問

神戸ハーバーランド株式会社

● あじさいネットについて

—— 前田あきら議員

● 減資の妥当性について

—— 前田あきら議員

神戸新交通株式会社

● 三宮駅舎について

—— 大かわら鈴子議員

23年度9月議会・決算特別委員会日程と共産党議員の質問予定

	月	日	曜日	審査順位	質問予定時刻	分科会	担当議員		月	日	曜日	審査順位	質問予定時刻	分科会	担当議員
会計室・市長室・行財政局	9	25	月	4	14:00	1	森本 真	10	2	月	2	11:00	2	朝倉 えつ子	
環境局				5	14:55	2	赤田かつのり				3	13:00	3	味口としゆき	
企画調整局		26	火	3	13:00	1	前田 あきら		3	火	5	14:55	1	森本 真	
港湾局				1	10:10	3	松本 のり子				西 ただす				
建設局		27	水	4	14:00	2	大かわら鈴子		4	水	1	10:10	2	赤田かつのり	
経済観光局				5	14:55	3	松本 のり子 森田 たき子				4	14:00	1	森本 真	
地域協働局		28	木	2	11:00	1	西 ただす		5	水	5	14:55	2	朝倉 えつ子	
福祉局				3	13:00	2	大かわら鈴子				2	11:00	3	松本 のり子 味口としゆき	
都市局		29	金	1	10:10	1	前田 あきら		10	10	火	4	13:50	—	大かわら鈴子
こども家庭局				4	14:00	3	味口としゆき 森田 たき子								

※陳情や請願の有無等によって質疑時間が大幅に前後する可能性があります。

ぜひご視聴ください

味口としゆき議員と朝倉えつ子議員が代表質疑

日時 9月22日(金) 10時頃から

場所 市議会本会議場

ご視聴は
こちらから



質疑時間が変わることがあります。インターネット中継でご視聴の方も本会議場での傍聴をご希望の方も時間に余裕をもってご覧ください。

大企業優先の新自由主義路線から 神戸市を成長させる施策へ転換を!!

9月22日に神戸市会本会議がひらかれ、日本共産党神戸市議団の味口としゆき議員と朝倉えつ子議員が登場し代表質疑をおこないました。

神戸市の2022年度各会計決算では、都心・三宮再整備やウォーターフロント再開発などの無駄な大型公共事業に聖域なく莫大な予算を投じています。一方で公立保育所・幼稚園・小中学校など立て続けに統廃合をうちだすなど、街の衰退を助長しています。味口議員は、人口減少数は政令指定都市トップであり、再開

発・大型公共事業に傾注してきた成果や成長は感じられないと質疑しましたが、久元市長は一言も成果を語れませんでした。味口議員は、久元市政の方針は新自由主義路線であり、公共サービスの切り捨て、公共部門の民営化と規制緩和を進めた国の方針に追随し、神戸市は人口減少が深刻化していると質しました。

味口議員が 代表質疑



質疑項目

1. 開発優先・大型公共事業優先の施策の転換について
2. 王子公園再整備基本計画(素案)について
3. 水道料金、市営交通料金などの市民負担増について
4. こども家庭センターなどの職員体制強化について

較で検討するような話ではない。

味口議員：渡った先のウォーターフロントでは、マンションの建設が終わっているのに集客施設や企業がメインで保育所や学校施設がない。これだけ大型公共事業に傾注しても人口減少は予想以上に進んでいるではないか。

久元市長：これは神戸だけでなく国全体で起きていること。三宮再整備や駅前リノベーションを進めたい。

味口議員：それでは人口減少は止まらない。再開発は市民のためにすることだ。今、再開発・大型公共事業への投資から脱却すべきだ。

答弁ダイジェスト

味口議員：市長も成果や成長を感じていないのではないのか。それどころか「渡りたくなる歩道橋」(三宮東遊園地-税関前歩道橋)は特殊な設計の吊り橋のために、まだお金がかかるからと工事ができなくなった。夢を描いたが頓挫しているのが今の三宮の現状だ。

今西副市長：三宮とウォーターフロントの回遊性の向上

には必須の歩道橋だ。

味口議員：今の歩道橋を使ってエレベーターを新しく4基に増やすなら6億でできるのに、北側はスロープのみで南側にしかエレベーターがない歩道橋に23億円もかけるような野放図なやり方に「おかしい」と言うのが市長の役割ではないのか。

今西副市長：港にはアリーナができ、歩いて移動される方が大変増える。6億との比

王子公園再整備基本計画(素案)

大学誘致ありきで、 動物を半減する計画はやめよ

神戸市は、「大学誘致より、王子公園・動物園の充実を」という市民の声や願いを一切顧みず「王子公園再整備基本計画(素案)」を出しました。動物は半減、遊園地はなくなり、スポーツ施設は軒並み廃止・縮小し、さらに桜などの

伐採計画は明らかにせず、景観・環境悪化が懸念されるものです。味口議員は、市長の思惑だけ優先し、大学誘致を強行するもとの公園を切り売りすることは許せないと厳しく批判し、計画素案の撤回を求めました。

答弁ダイジェスト

今西副市長：市民の意見を伺いながら素案を策定した。10月2日から素案の意見募集を実施する。

味口議員：素案ではどれだけ桜の木が残るのか隠されたままだ。また、動物の種類が半減することも市民に配布するミニニュースには書かれていない。きちんと情報を開示すべきだ。

今西副市長：(桜の木は)できるだけ保存し新たな植栽

もおこなうことを明記している。120種の動物を分類するコレクションプランは、動物園・水族館協会の方針に準拠したものだ。

味口議員：きちんと明記して市民に問うべきだ。公共の施設を営利の場として提供し、さらに動物まで半分にするような将来に禍根を残す計画は撤回すべきだ。

※計画(素案)への意見募集については、裏面の下部に記載しています。

市民の命を守る病院として 存続できるよう力尽くせ



質疑項目

1. 済生会兵庫県病院と三田市民病院の統合について
2. 障がい者の親亡き後対策について
3. 女性の賃金差別是正について

済生会兵庫県病院と三田市民病院は、これまで統合推進のための基本協定など神戸市と三田市の市長と両病院で協議をおこなってきましたが、今年の三田市長選挙では、再編統合をすすめてきた前市長は市民から厳しい審判を受け

て落選し、「病院統合は白紙撤回」と公約を掲げた新三田市長が誕生しました。朝倉議員は、三田市民の民意を尊重し、神戸市として済生会兵庫県病院と三田市民病院の統合を強行すべきではないと追及しました。

答弁

久元市長：三田市長選の結果を受けて協議が滞っている状況だが、ボールは三田市側にある。できるだけ早期に三田市の考え方を示してほしい。

い。しかし、選挙の結果で神戸市の判断や方向性に影響を与えられるものではない。

朝倉議員：三田市民は「病院統合白紙撤回」の新市長を選んだ。その結果は重いもの

だ。新市長は市民の声を聞きながらと言ってる。神戸市もきちんと市民の意見を聞くべきではないか。

久元市長：市民の声を聞いて、議会で議決いただいた経緯を踏まえて対応していきたい。

朝倉議員：北神地域の市民の皆さんは、「統合ありきで進んでいる」と声をあげている。両病院はコロナで地域の拠点として頑張ってきた。厚労省からも「病床削減や統廃合ありきでなく、地域の実情を踏まえて」と地域医療構想の進め方についての通知を出した。病院が大きくならな

朝倉議員が代表質疑

ればというなら、増床も視野に入れ、存続できるように神戸市が支援すべきだ。

久元市長：両病院が単独で存続できることが一番望ましいが、できないから苦労して議論してきた。

朝倉議員：市民は統合を誰も望んでいない。単独が難しいなら存続できるように支援するのが行政の役割だ。両市が市民の声を聞き、統合ありきでなく市民の命を守る病院になるよう力を尽くすべきだ。

障がい者が親亡き後も安心して暮らせるよう、実態把握し市の責任で必要な整備を

神戸市は「第7期神戸市障がい福祉計画」の策定に向けて議論し、障がい者のグループホームの定員数を2026年までに2000人という目標を示しました。市による関係団体へのヒアリングでも、障がい者のグループホームなど、地域での暮らしを保障するための施設は、「すべて不足している」と意見が出されています。介助をする家族の高齢化

も進み、「私がもし倒れたら、この子は一人では暮らしていけない、暮らす場所が地域にはない」強度行動障害の子どもを持つ保護者の方からは「『どこも引き受け手がない』と言われ、途方に暮れる」と声が寄せられています。朝倉議員は、障がい者の実態を把握し、市の責任で市民に必要な施設をきちんと整備するべきと質しました。

答弁

小原副市長：障がい者グループホームの整備は重要だと考える。第6期目標の定員はすでに達成したが、千人当たりの定員数は他の政令市と比較して少ないと認識している。7期ではさらなる定員増に加え重度障害者に対応したグループホームの整備もおこなってきたい。

朝倉議員：近くにグループホームがなく、家族でつくるしかない相談に来た方がいる。家族介護は限界に達している。家族の責任のままにして良いのか。定員数の不足を

認めているのならば、市として具体的にどう推進し実現していくのか。

小原副市長：例えば市営住宅や県営住宅の活用、補助制度の活用についても市街地を希望される利用者もいるので、そういった部分の補助のかさ上げを実施している。

朝倉議員：市街地だけではなく北区や西区でも足りていない。今は特別支援学校も満杯だ。この子どもたちの将来を考えたならご家族の不安は当然だ。人口減少対策では、1歳刻み、小学校区ごとに計画を立てるといふなら、障がい者の実態もきちんと把握し、足りないグループホームなど、市民の役に立つ施設をつくるべきだ。

小原副市長：計画策定時にはアンケート調査や関係者のヒアリングも実施して実態把握につとめたい。

ぜひご視聴ください

大かわら鈴子議員が総括質疑

日時 10月10日(火) 13時50分頃から 場所 市議会本会議場

時間が前後する可能性がありますので、余裕をもってご覧ください

ご視聴はこちらから↓



計画(素案)の撤回へ、声を集中しましょう!

募集期間・2023年10月2日(月)~10月31日(火)

王子公園

再整備基本計画(素案)への
意見募集はこちらから

①送信フォーム



②郵送 〒651-0083 神戸市中央区浜辺通2-1-30

三宮国際ビル7F 神戸市都市局未来都市推進課 意見募集宛

③FAX 078-595-6690

④メール ojikoengeikaku@office.city.kobe.log.jp

⑤持参 郵送場所と同じ (平日8:45~12:00、13:00~17:30)

大学誘致
より

王子公園・王子動物園の充実を

市民の願い・声を一切顧みず、神戸市は「王子公園再整備基本計画(素案)」(以下「計画(素案)」)を
発表しました。

問題が山積



① 動物は半減

- ▶ 130種程度飼育している動物のうち50~60種を譲渡などで減らし半減
- ▶ 大学誘致が優先され、動物園面積は増えません



② 遊園地も 存続されません

- ▶ 当分の間、観覧車だけ存続

③ スポーツ 施設は軒並み、 廃止・縮小

- ▶ プール・サブグラウンド・相撲場は廃止
- ▶ スタジアムは400mトラックが8コースから4コースに縮小
- ▶ テニスコートは6コートから2コートに縮小され駐車場の屋上へ移転

④ 桜など樹木の伐採 計画は明らかにせず

- ▶ 桜が653本、桜以外が690本の樹木があることは明記されていますが、樹木がどの程度伐採されるのかは隠されたまま



神戸市 王子公園再整備基本計画(素案)

王子公園ミニニュース(広報紙KOBEL10月号挟み込み)より



⑤ 六甲山系の景観は守られず、 地域の環境悪化も懸念されます

- ▶ 立体駐車場は4階+屋上で31mの高さであり、六甲山の山並みが見渡せません
- ▶ スタジアムの移動で、騒音などの影響も



大切な公園・動物園を奪わないで！ 王子公園再整備基本計画(素案)に怒りの声を届けよう 緊急市民集会

主催:みんなの王子公園&動物園の会

10月15日(日)午後2時~ 王子動物園ホール

日本共産党市会議員団・
味口としゆき議員が、
市会論戦について報告
します。

大学誘致ありきで、 市民のための公園を切り売り

面積の1/4も減



王子公園ミニニュース(広報紙KOBÉ10月号挟み込み)より

【神戸市】都市計画の内容

都市計画	内容
公園	王子公園の変更
駐車場	王子駐車場の変更(廃止) ※未整備
地区計画	王子公園地区 地区計画の決定



公園を大学に売るための変更です!

「計画(素案)」は、王子公園駅に一番近い利便性のよい公園部分を切り売りし、大学を誘致するとしています。世代を超えて市民から愛されている王子公園を民間事業者の営利活動の場として提供する計画です。

「計画(素案)」の撤回へ、 市民の声を集中しましょう!

王子公園の再整備計画についてはコチラ

王子公園再整備基本計画(素案)への意見募集

募集期間 2023年10月2日(月)～10月31日(火)

提出方法

①意見送信
フォーム

ホームページ
はこちら



② 郵送

〒651-0083 神戸市中央区浜辺通2-1-30
三宮国際ビル7F 神戸市都市局未来都市推進課
意見募集宛 ※2023年10月31日(火)消印有効

③ FAX

078-595-6690

④ メール

ojikoenkeikaku@office.city.kobe.lg.jp

⑤ 持参

※平日の8時45分～12時、13時～17時半
三宮国際ビル7F 神戸市都市局未来都市推進課
意見募集宛

公園部分の切り売り計画についてはコチラ

地区計画(素案)への意見募集

募集期間 2023年10月10日(火)～10月31日(火)

提出方法

①問合せ
フォーム

ホームページ
はこちら



② 郵送

〒651-0083 神戸市中央区浜辺通2-1-30
三宮国際ビル6F 神戸市都市局都市計画課
※2023年10月31日(火)消印有効

③ FAX

078-595-6802

④ メール

oji_tokei_iken@office.city.kobe.lg.jp

⑤ 持参

※平日の8時45分～12時、13時～17時半
三宮国際ビル6F 神戸市都市局都市計画課

第3弾「大学誘致やめて」署名実施中!!



失われた30年から脱却へ 政治の責任で 賃上げを

日本共産党 神戸市会議員団

物価高騰に暮らしの悲鳴があがっています。みなさんの生活にとって深刻な打撃となっているのは、自民党政治のもとでの長期にわたって経済の停滞と衰退—「失われた30年」で、暮らしの困難が続いているところに、物価高騰が襲いかかっていることによるものです。

久元市長は「可処分所得の改善、経済的負担を軽減することが重要」と賃上げや社会保障費負担軽減の必要性を認

めました。

しかし、決算議会で神戸市は開発路線を継続・強化し、他方で公共施設の廃止、福祉・市民サービスの切り捨てをさらにすすめるとしています。

日本共産党神戸市会議員団は、人口減少を助長する施策を転換し実質賃金の引き上げと正規化を求める論戦と運動に奮闘しています。



財務省「法人企業統計」、厚生労働省「毎月勤労統計」から作成
出典：2023年10月4日付「しんぶん赤旗」

人口減少を加速させた 都心・大型開発偏重の転換を



神戸市は、都心・三宮再整備186億円、ウォーターフロント再開発35億円、国際コンテナ戦略港湾116億円、大阪湾岸道路19億円など、再開発とムダな大型公共事業に予算を投じています。

しかし、人口は150万人を切り、再開発・大型公共事業に傾注してきた成果や成長はまったく感じられません。

さらに、神戸市は、人口減少社会に適合するなどとして、市バス路線(兵庫・長田)の縮小、幼稚園・保育所の廃止、小中学校の統廃合を強行しようとしています。

味口としゆぎ議員は、大企業のもうけ優先で、市民の生活を守るための規制を取り払い、公共サービスを切り捨て、社会保障削減をすすめる、新自由主義路線の根本的転換を求めました。



出典：「毎月推計人口」(神戸市)
(<https://www.city.kobe.lg.jp/a47946/shise/tokei/toukei/jinkou/suikiejinkou.html>)



9月22日 代表質疑に登壇する味口としゆぎ議員

若い世代の正規化・女性の賃金格差 解消めざせ

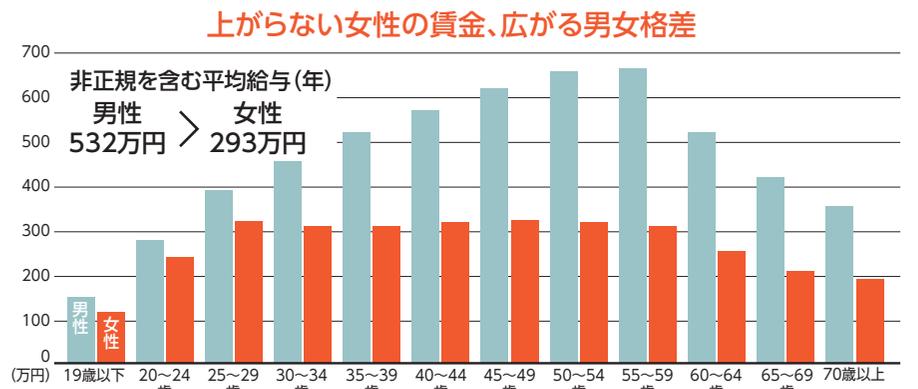
岸田政権は、「若者・子育て世代の所得を伸ばさない限り、少子化を反転させることはできない」「希望する非正規雇用の方々の正規化を進める」としています。これを受け久元市長は、「経済の活力を回復させていく上で求められているのは、賃金の引上げ」「あらゆるセクションが賃金を上げるという強い決意を」と語りました。

ところが、神戸市は、会計年度任用職員(非常勤職員)の時給アップのみで、「行財政改革」を口実とした正規職員削減は継続しています。会計年度任用職員の74%は女性であり、この改善は、ジェンダー平等の観点からも急がれます。

朝倉えつ子議員は、男女賃金格差は女性は男性の55%であり、一生涯で1億円もの格差となることを示し、神戸市が格差是正へ正規職員を増やすことを強く求めました。



9月22日 代表質疑に登壇する朝倉えつ子議員



出典：国税庁2020年分「民間給与実態統計調査」をもとに本村伸子事務所作成

学校給食の無償化を

2万5千569筆の署名を提出
(第1次含む)



無償化を求める署名を提出する中学校給食を実現する会と前田あきら議員(10月5日)

学校給食の無償化を求める署名は1年余りで2万5千筆を超えました。神戸市もついに「国に給食無償化を求める」要望を提出しました。

日本共産党神戸市会議員団は、子どもの医療費の無料化や義務教育費の無償化を求めています。

大学誘致より 王子公園・動物園を守って



みんなの王子公園&動物園の会の集会で報告する味口としゆぎ議員(10月15日)

「大学誘致より、王子公園・王子動物園の充実を」という市民の願い・声を一切顧みず「王子公園再整備基本計画(素案)」が出されました。市長の思惑だけ優先し、市民のための公園を切り売りすることは絶対に許せません。

持続可能な地域経済へ

地場産業の振興で 食料自給率の向上を

ニンジン・ピーマン・ネギなど野菜が軒並み高騰し、家計から悲鳴が上がっています。気候危機に起因する猛暑や渇水の影響に加え、背景には高齢化に伴う生産者や作付面積の減少があります。神戸市の農家人口は10年間で2割減り、専業農家は僅か19%しかありません。生産者減少の背景には、長年の自民党政治による輸入促進策と農業を切り捨てという「亡国の農政」



があります。日本の食料自給率はカロリーベースで38%と、異常な水準まで低下しています。食と農業を守り、安心できる食料を供給することは政治が最優先で取り組むべき重大な課題です。森田たき子議員は、「食料自給率向上へ、神戸市が価格保障・所得補償の充実をはじめ、農業支援の抜本的強化を」と求めました。



10月24日一般質問に登壇する森田たき子議員

公立幼稚園 13園の廃止やめよ

神戸市は保護者の願いである「3歳児保育」「預かり保育時間の延長」を実施しない中で、市立幼稚園の児童が減少しているとして、13園の市立幼稚園を2028年度までに廃園する案を発表しました。

すべての子どもを分けへだてなく安心して預けることができる市立幼稚園の存続へ声をあげていきましょう。



垂水区:たるみ、灘区:六甲山、長田区:西野、
北区:山田、からと、道場、八多、大沢、
西区:太山寺、櫛谷、おしんべ、平野、神出

今後の幼児教育・保育における市立幼稚園について(案)の意見募集

募集期間

2023年11月6日(月)
~12月5日(火)

提出方法

意見送信
フォームはこちら →



2022年度決算の特別委員会で質疑を行いました

図書館は 地域住民の 情報拠点に



松本のり子 議員 東灘区

“すべての人が書籍をはじめとする情報を自由に利用できるようにすること”ユネスコ公共図書館宣言です。地域図書館が貸本屋や学生の自習スペースの作られ方ではいけません。住民生活を支える情報拠点としての役割をもっと積極的にはたすべきです。松本議員は、そのために図書館の運営計画や政策立案について職員や市民も参画し、地域のあらゆる課題にとりくむ場所にすべきと求めました。

(10月4日 文化スポーツ局審査)

高すぎる国保料 独自の控除の 継続を



大かわら鈴子 議員 兵庫区

神戸市は、高すぎる国保料の軽減策として、障がい者、ひとり親、低所得者など大変な世帯を対象に独自の控除を行い負担軽減を図ってきました。ところが、国保の都道府県化により、国保料を一律化する計画であり、独自の控除を廃止しようとしています。大かわら議員は「これではただでさえ大変な世帯に大きな負担増となる。」と廃止計画の撤回を求めました。

(9月28日 福祉局審査)

大学の入学金・ 授業料の 無償化を



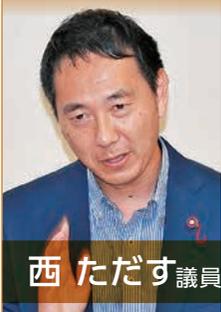
前田あきら 議員 須磨区

物価高騰の影響で、アルバイトをしながら暮らす学生の生活はますます苦しくなっています。2億8千万円で、神戸市立大学の入学金と授業料の無償化が実現できます。

前田議員は、政治の責任で、若い世代の重い借金の荷を下ろし、神戸の未来を担っていただくようにするためにも、奨学金の返済支援と学費の減免・無償化をすべきと求めました。

(9月26日 企画調整局審査)

市バス・地下鉄 の運賃値上げ 反対



西ただす 議員 東灘区

交通局は来年早々にも市バス・地下鉄の運賃値上げの提案を行おうとしています。市バスは30円値上げの計画です。西議員は、三宮や神戸空港には資材高騰のもとさらに莫大な予算を投入しながら、『市民の足』を奪うような計画を批判。また、賃上げをし、市バス運転手を確保することも急務だと求めました。市民生活に直結する交通事業にこそ支援を強めるべきと求めました。

(10月3日 交通局審査)

市民の足・ バス路線の廃止 縮小はやめよ



森本 真 議員 長田区

来年4月の長田区・兵庫区の5路線再編計画で「現在270便の運行が概ね170便程度に減少する見込み」です。森本議員は、95系統が廃止となれば、新長田から西市民病院は直接いけなくなると指摘。新長田駅のバスロータリーも実際の計画は定まらず、利便性がよくなるかは不明のままであり、減便ではなく、市民の声を活かしたバス路線にすべきと求めました。

(10月3日 交通局審査)

水道料金の 値上げ ストップ



赤田かつのり 議員 垂水区

水道局は「厳しい経営環境」を理由に水道料金の値上げ(年額1,788~12,228円)を辞さない姿勢です。不要不急の大型送水管工事などを温存しながら、市民負担を求めるのは矛盾します。

赤田議員は、水道料金の値上げは命と暮らしにかかわる問題であり、絶対にすべきではないと主張しました。

(10月3日 水道局審査)

学校給食 無償化を! 幼稚園統廃合 やめよ!



味口としゆき 議員 灘区

給食の完全無償化を実現した自治体が3割に上っており、給食の無償化など子育て・教育環境の改善が必要であることを強くもめました。

また、市立幼稚園の統廃合が強行されようとしている事に対して、特別支援や配慮を要する幼児が3割を示している事を示し、障がいをもつ子どもやご家族に遠距離通園など負担を増やす幼稚園統廃合は絶対にすべきでないと求めました。

(10月2日 教育委員会審査)

有野町有野の 違法盛土、 いのちを守る 対策を急げ!



朝倉えつ子 議員 北区

事業者による違法盛土の土砂が、降雨量により住宅地域に流れ込む恐れがあると、8月の台風7号では「警戒レベル4」の避難指示が出されました。

環境局の調査で、2022年には「人家へ被害が及ぶ」と、危機管理室、消防局とも情報共有していたにも関わらず、朝倉議員は「なぜ住民への対応が遅れたのか」と追及しましたが、神戸市は、当局は「不安をおおる」などと命をないがしろにする答弁に終始しました。

(10月2日 危機管理室・消防局審査)

こども家庭 センターの 体制強化を



森田たき子 議員 西区

西区の事件から、こども家庭センターの体制を強化することが急がれています。森田議員は、児童福祉司、児童心理士は非正規でなく正規職員を増やし、一時保護所の学習指導員は、日替り対応ではなく体制を強化すること、子どもの命を守るため区役所任せではなく職員を増やすよう求めました。

(9月29日 こども家庭局審査)



森田たき子 定例駅頭 市政報告

- ★西神中央駅
毎週火曜日
7時～8時
- ★学園都市駅
毎週金曜日
7時～8時

- ・住民に丁寧な説明をすること
- ・エレベーターを設置した棟への住民移転は優先的に行うこと
- ・空家募集を行いコミュニティを維持すること

以下
の
要
望
を
行
い
ま
し
た。

西
区
栄
市
営
住
宅
の
栄
市
営
住
宅
は、
昭
和
50
年
度
に
か
け
て
建
て
ら
れ、
老
朽
化
で
改
修
・
整
備
計
画
を
進
め
る
と
令
和
3
年
に
市
か
ら
説
明
を
受
け
て
い
ま
し
た。
し
か
し、
当
初
の
計
画
通
り
に
進
ま
ず、
充
分
な
住
民
説
明
も
な
い
な
か
で
住
民
の
皆
さ
ん
か
ら
不
安
の
声
が
あ
ら
わ
せ
ま
し
た。



栄市営住宅(桜が丘)は どうなるのか



9月15日に開かれた「都市交通委員会」ではコロナ感染対策での繰入や物価高騰対策として使った補正予算には賛成しましたが、三宮周辺再開発に関わる議案には「必要ない」と反対しました。
その他で質問した内容を報告します。

9月(決算)議会が行われました



ハトの糞で汚れる通路

交通局は「ハト侵入防止ネットを付けるなどの対策を検討する」とこたえました。



学園都市駅の2階に設置する南北通路にハトが毎日侵入し、通路にはハトの糞や羽が飛び散り不衛生な状態が続いています。

ビル内の店舗やクリニックを利用される方からも苦情が出ていました。「駅の改札では管理してないと言われ困った」「今年になって酷くなってきている」など多くの地域住民の皆さんの声に心え、緊急対策するよう求めました。

学園都市駅の ハトの糞害対策 について



中学校給食がスタート

神戸市は、2024年度2学期から2025年度3学期にかけて、中学校給食を実施すると発表しました。

西区は2025年1学期から始まります。提供方式は、民間調理施設方式です。



(株)コープフーズ・(株)グルメサービスから西区13校・長田区6校へ配食されます。みなさんと力を合わせた署名7万筆が大きな力となって実現することができました。義務教育の無償化は憲法でも保障されています。引き続き自校調理方式を求めながら、学校給食の無償化をめざしましょう。

西神戸ゴルフ場の産業団地造成に反対

西区押部谷町にあった西神戸ゴルフ場の跡地に、産業団地(工業・物流)をつくる計画を審議しました。既にある産業団地に併設する計画で道路渋滞、環境など地域から心配の声もあがっています。神戸市が開発した多くのところで未利用地となっている所は多く、必要ないと反対しました。他会派からは「内陸部で需要がある」と市を後押しする発言もありました。

*誘致案内(未利用地)

産業団地(西区見津が丘)	3.78 畝
神戸空港島	19.78 畝
ポートアイランド(2期)	10 畝

再整備は市民の声を聞いて!

「計画(素案)」は、王子公園駅に一番近い利便性のよい公園部分を切り売りし、大学を誘致しようとしています。王子公園・王子動物園の充実が世代を超えて愛されている市民の願いです。

大学誘致より王子公園王子動物園の充実を!



通学路に信号機設置を要望

住民の願い実現へ

◆私の公約◆

井吹の丘小学校の通学路である北町1丁目三叉路付近は朝夕の交通量が多く危険な状態となっています。開校から10年間、保護者や先生が子どもたちの見守り活動をしています。

子どもたちから「車にひかれそうになって怖かった」と言う声もあり住民の皆さんと一緒に神戸西警察署へ信号機設置など安全対策を求め、要望書を提出しました。

信号機の設置計画は県下で10機と僅かであり、現場で認識を一致するなかで、警察から横断歩道の位置変更や歩行者用信号機の設置などの提案がありました。

住民の皆さんと現地を視察する森田市議、ひび兵庫4区国政委員長



中学校給食がスタート

神戸市は、2024年度2学期から2025年度3学期にかけて、中学校給食を実施すると発表しました。

西区は2025年1学期から始まり、民間調理施設方式です。



(株)コープフーズ・(株)グルメサービスから西区13校・長田区6校へ配食されます。みなさんと力を合わせた署名7万筆が大きな力となって実現することができました。義務教育の無償化は憲法でも保障されています。引き続き自校調理方式を求めながら、学校給食の無償化をめざしましょう。

西神戸ゴルフ場の産業団地造成に反対

西区押部谷町にあった西神戸ゴルフ場の跡地に、産業団地(工業・物流)をつくる計画を審議しました。既にある産業団地に併設する計画で道路渋滞、環境など地域から心配の声もあがっています。

神戸市が開発した多くのところで未利用地となっている所は多く、必要ないと反対しました。他会派からは「内陸部で需要がある」と市を後押しする発言もありました。

*誘致案内(未利用地)

産業団地(西区見津が丘)	3.78 畝
神戸空港島	19.78 畝
ポートアイランド(2期)	10 畝

再整備は市民の声を聞いて!

「計画(素案)」は、王子公園駅に一番近い利便性のよい公園部分を切り売りし、大学を誘致しようとしています。

王子公園・王子動物園の充実が世代を超えて愛されている市民の願いです。

大学誘致より王子公園王子動物園の充実を!



通学路に信号機設置を要望

住民の願い実現へ

◆私の公約◆

井吹の丘小学校の通学路である北町1丁目三叉路付近は朝夕の交通量が多く危険な状態となっています。開校から10年間、保護者や先生が子どもたちの見守り活動をしています。

子どもたちから「車にひかれそうになって怖かった」と言う声もあり住民の皆さんと一緒に神戸西警察署へ信号機設置など安全対策を求め、要望書を提出しました。

信号機の設置計画は県下で10機と僅かであり、現場で認識を一致するなかで、警察から横断歩道の位置変更や歩行者用信号機の設置などの提案がありました。

住民の皆さんと現地を視察する森田市議、ひび兵庫4区国政委員長

